



## 東芝パッケージエアコン用 TCC-LINK アダプタ

# 取付説明書

## 室内ユニット専用

形名 TCB-PCNT31TL

## [工事業者様用]

- このたびは東芝パッケージエアコン用別売部品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- 取付の前に、この説明書をよくお読みになり正しい取付を行ってください。

## もくじ

安全上のご注意	2	ダクト・床スタンド	
取付の前に	3	(AP**5H シリーズ以前 8・10HP)	
配線接続方法	3	筐体の場合	17
基板スイッチの設定	5	床スタンド (AP**6H シリーズ 8・10HP)	
取付手順	6	筐体の場合	18
4方向天力セ筐体の場合	6	ダクト (8・10HP) 筐体の場合	19
2方向天力セ筐体の場合	11	床サイド・厨房用天吊筐体の場合	20
1方向天力セ・天吊筐体の場合	12	アドレスの設定	21
天吊筐体の場合	13	アドレス重複時の警報コード	30
ビルトイン・ダクト筐体の場合	14	使用方法	31
床スタンド (AP/RP シリーズ 6HP 以下)		その他注意事項	31
筐体の場合	16		

## ■構成部品



名 称	個数	適 用
① 基板本体	1	TCC-LINK対応用PC板本体
② 中継端子台(U3,U4)	1	中継用の2P端子台 (U3,U4)
③ 中継ケーブル(A)	1	TCC-LINKアダプタ基板とU3,U4中継端子台との接続用 (青色コネクタ)
④ 中継ケーブル(B)	1	TCC-LINKアダプタ基板と室内制御基板との接続用 (赤色コネクタ)
⑤ 取付説明書	1	本紙
⑥ スペース(A)	3	TCC-LINKアダプタ基板固定用 (室内ユニットの電気部品箱の板金上に基板を乗せるとき使用)
⑦ スペース(B)	1	TCC-LINKアダプタ基板固定用 (室内ユニット形態によって必要です)
⑧ 端子台固定用ねじ	2	中継端子台固定用 (M4×14L)
⑨ 結束バンド	3	配線処理用
⑩ 端子銘板	1	中継端子台近傍への貼付け用
⑪ アダプタ基板BOX	1	4方向 (AP**5H～AP**7Hシリーズ および RP***Hシリーズ) だけ使用
⑫ アダプタ基板カバー	1	4方向 (AP**5H～AP**7Hシリーズ および RP***Hシリーズ) だけ使用
⑬ コードクランプ	1	配線固定用
⑭ アダプタ基板BOX固定ねじ	1	アダプタ基板BOXをベルマウスに固定するために使用(M4×10L)
⑮ アダプタ基板カバー固定ねじ	2	アダプタ基板カバーを固定するために使用(M4×8L)

日本国内専用品  
Use only in Japan

# 安全上のご注意

- 取付工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく取り付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。  
表示と意味は次のようになっています。




## 表示の説明

表 示	表 示 の 意 味
 <b>警告</b>	「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があること」を示します。
 <b>注意</b>	「誤った取り扱いをすると、人が軽傷 <sup>※1</sup> を負う可能性、または物的損害のみが発生する可能性がある <sup>※2</sup> こと」を示します。

※ 1：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

※ 2：物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害をさします。

## 図記号の説明

	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。		△は、注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。		

## 警告

- 取付は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する  
ご自分で取付工事を行い不備があると、感電や火災の原因になります。
- 取付工事は、この取付説明書に従って確実に行う  
取付に不備があると、感電や火災の原因になります。
- 再設置する場合は、販売店または専門業者に依頼する  
取付に不備があると、感電や火災の原因になります。
- 電気工事は、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」、およびこの取付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する  
また、電圧は製品の定格電圧と合わせる  
電源回路容量不足や施工に不備があると、感電や火災の原因になります。



## 注意

- 配線は、正しい電流容量の配線で工事する  
漏電や発熱・火災の原因になります。
- 配線は所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないようにする  
断線したり、発熱・火災の原因になります。
- 基板本体に無理な力を加えない  
折れ・はがれ・断線が発生し、発熱・火災の原因になります。



- 取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。  
また、この取付説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

# 取付の前に

本アダプタは室内基板メインMCU NO.9009-238 以降のものに対応しています。

上記以前の機種の場合、室内基板メインMCU の変更が必要になります。

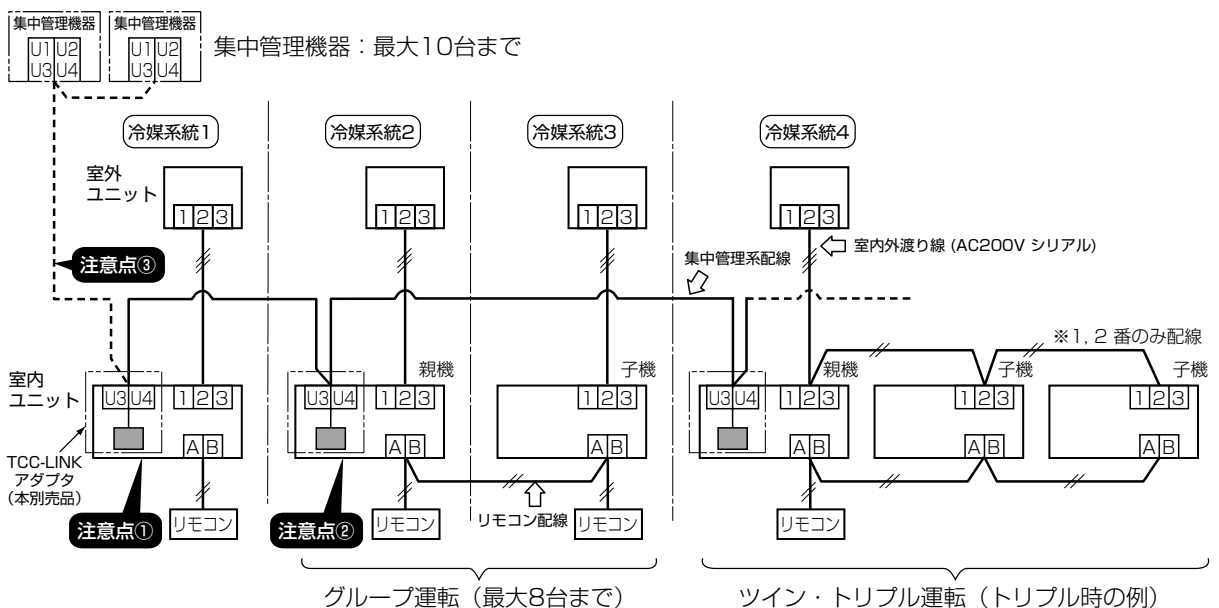
## 配線接続方法

### 1. TCC-LINK配線接続

注意  
点

- ①カスタムを集中管理する場合、TCC-LINK アダプタ（本オプション）が必要です。
- ②グループ運転、ツイン・トリプル運転の場合、室外ユニットが配線されている室内ユニットへ接続し、必ず親機に設定してください。  
（室外ユニットと配線されていない室内ユニット・子機への接続は不可）
- ③集中管理機器は集中管理系配線に接続してください。
- ④カスタムだけで集中管理する場合、系統アドレス No. の一番小さい系統のみ SW01 のビット 1 を ON にしてください。（工場出荷時は OFF）

カスタムの場合、自動アドレス設定後、ワイヤードリモコンからのアドレス再設定が必要です。



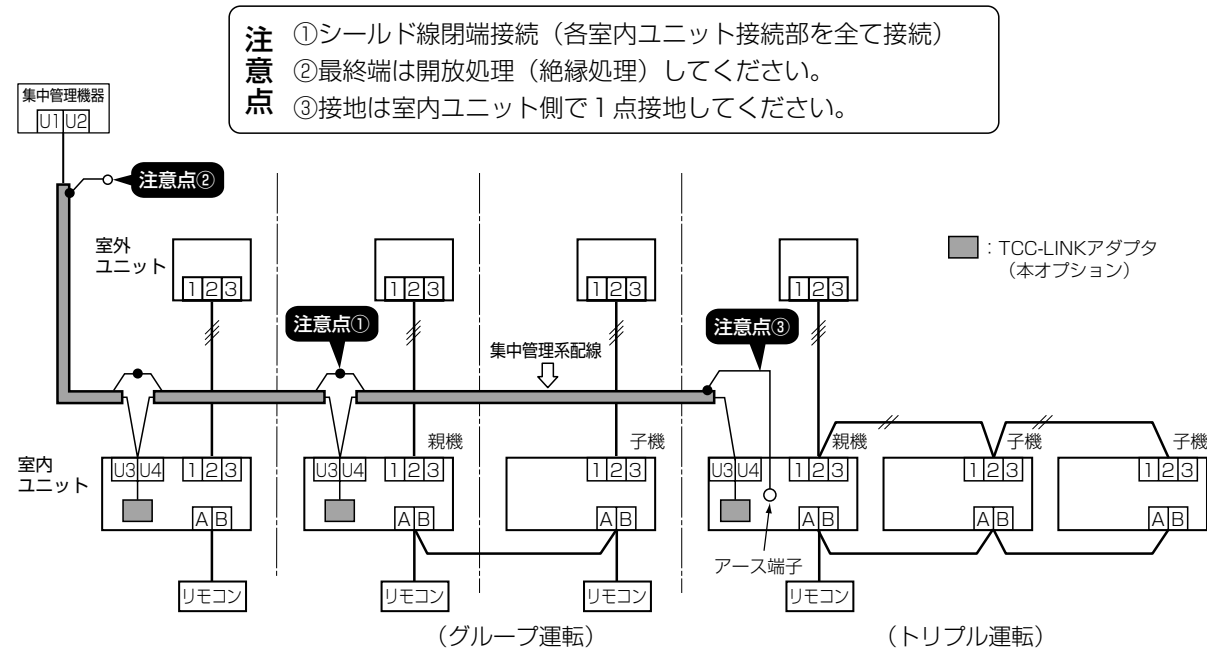
全冷媒系統の室内ユニット最大64台まで  
[マルチと混在（リンク配線）の場合、マルチ室内ユニットの台数も含みます]  
※ただし、カスタムのグループ子機、ツイン・トリプル子機は台数に含みません。

# 配線接続方法（つづき）

## 2. 配線仕様

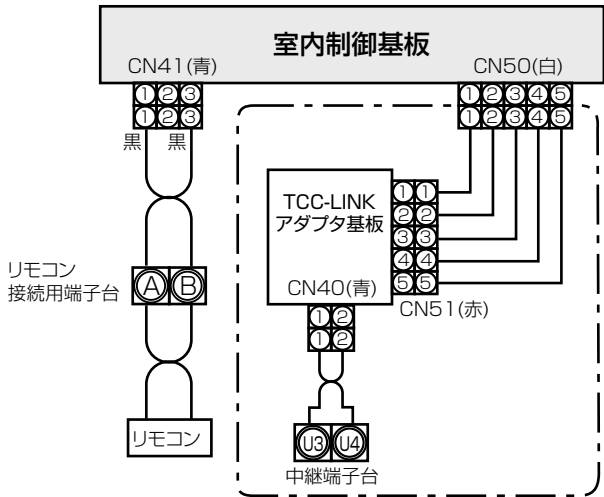
本数	サイズ	仕様
2	1000mまで ヨリ線1.25mm <sup>2</sup> 2000mまで ヨリ線2.0mm <sup>2</sup>	MVVS

- 配線は2芯無極性です。
- 長さは集中管理系配線の長さです。  
マルチ混在システムの場合、マルチ側全ての室内外渡り線の長さも合わせた長さとなります。
- ノイズ障害防止のため、2芯シールド線（MVVS）を使用してください。
- シールド線を閉端接続継ぎとし、最終端は開放処理（絶縁処理）を行います。  
また、接地は室内ユニット側で1点接地とします。（カスタムだけの集中管理時）



## 3. 室内制御基板との配線接続図

詳細は機種別の取付手順を参照ください。

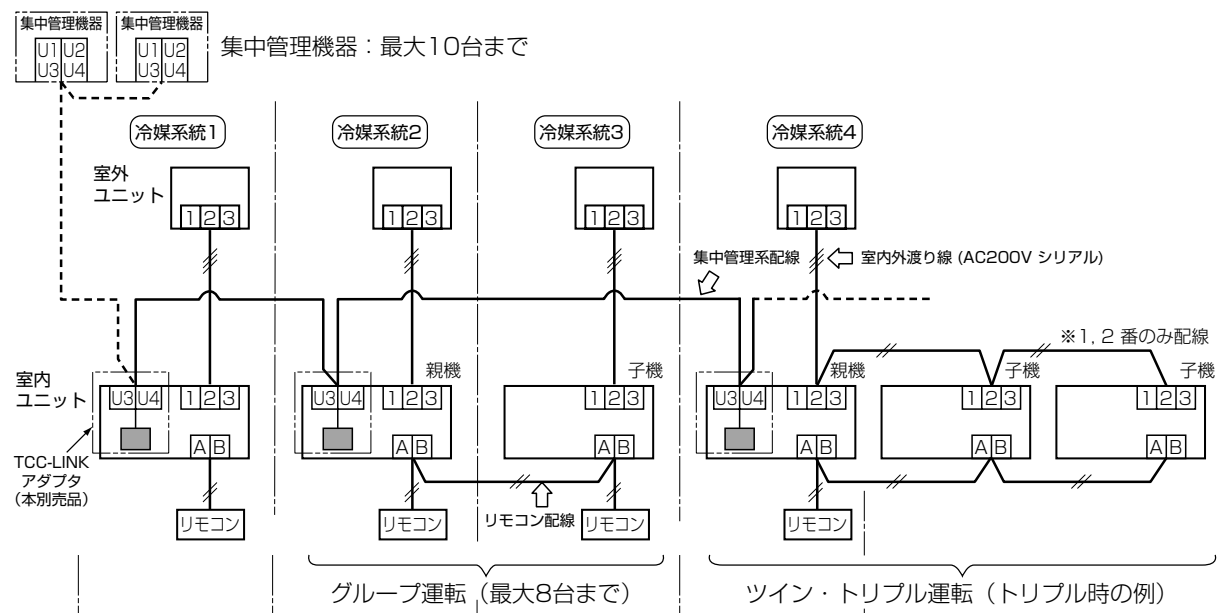


- 一点鎖線内が本製品に付属されている部品です。
- は制御基板、◎は端子板（中の文字は端子番号）を示します。
- 端子台U3,U4への配線接続には極性がありません。  
（注）誤ってU3,U4端子にAC100Vや200Vを印加した場合、ヒューズが溶断して保護します。  
配線を修正したあと、TCC-LINKアダプタ基板上のCN40（青）への接続コネクタをCN44（茶）に差し換えてください。

# 基板スイッチの設定

カスタムだけで集中管理を行う場合、終端抵抗の設定が必要です。

- 終端抵抗はSW01にて設定します。
- 終端抵抗は系統アドレスNo.が一番小さい系統の室内ユニットに接続されたアダプタのみ設定してください。



系統アドレス	1	2		4
SW01ビット1	ON	OFF		OFF
SW01ビット2	OFF	OFF		OFF
備 考	SW01ビット1をONする	工場出荷状態のまま		工場出荷状態のまま

(工場出荷時OFF)  
(工場出荷時OFF)

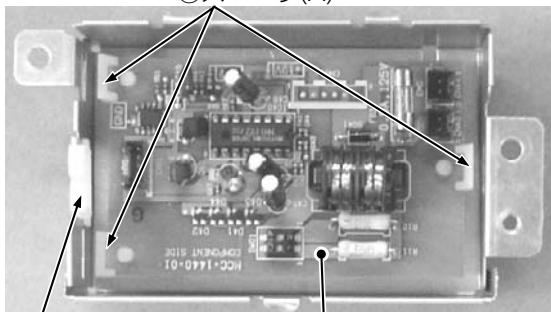
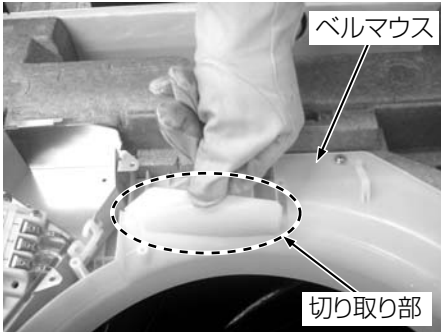
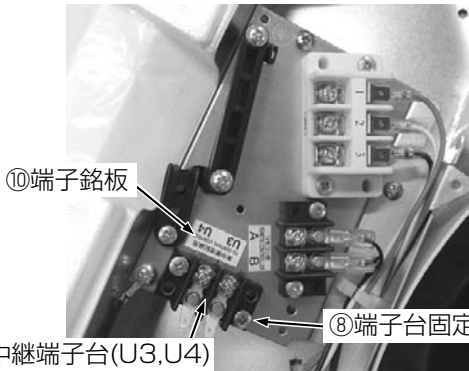
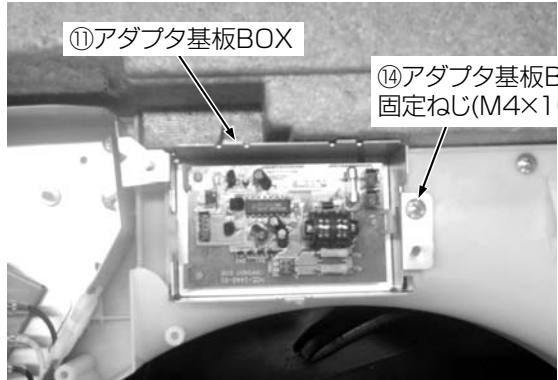
(参考) スイッチの設定内容

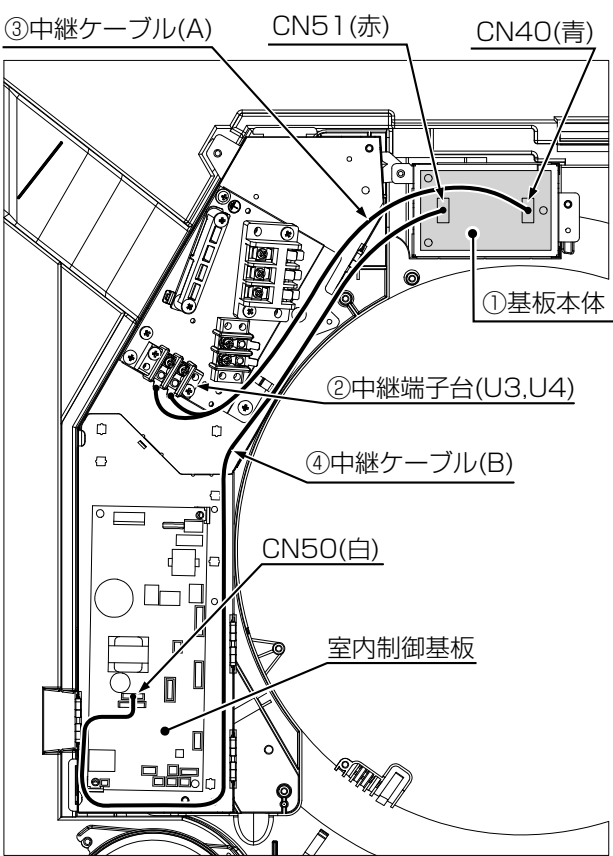
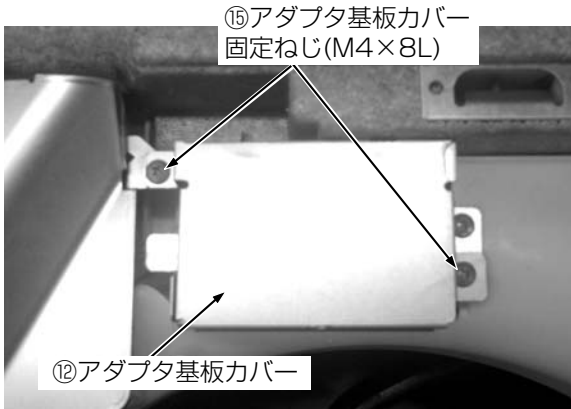
SW01		終端抵抗	備 考
ビット1	ビット2		
OFF	OFF	なし	工場出荷時、マルチとの混在 (リンク配線)
ON	OFF	100Ω	カスタムのみで集中管理
OFF	ON	75Ω	予備
ON	ON	43Ω	予備

# 取付手順

●TCC-LINKアダプタ基板の取付作業および中継ケーブルの取りはずしは、必ずエアコンおよび集中管理機器の電源をOFFにして、しばらく（1分程度）してから行ってください。TCC-LINKアダプタ基板本体を破損するおそれがあります。

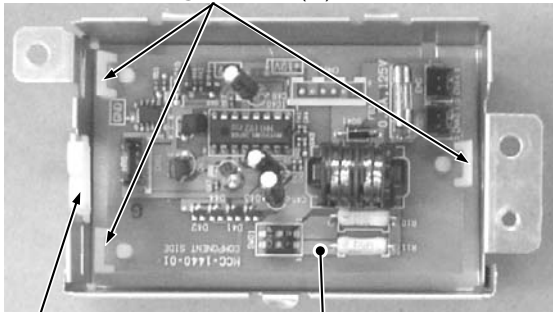
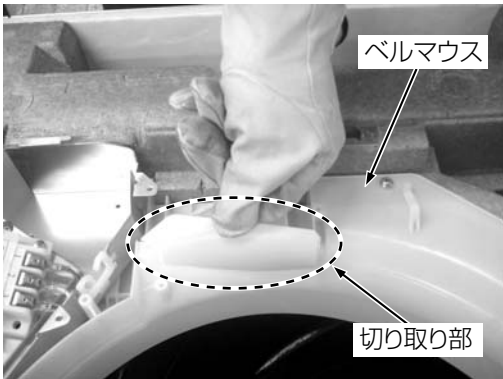
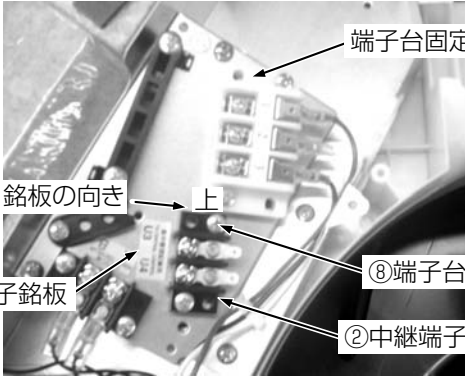
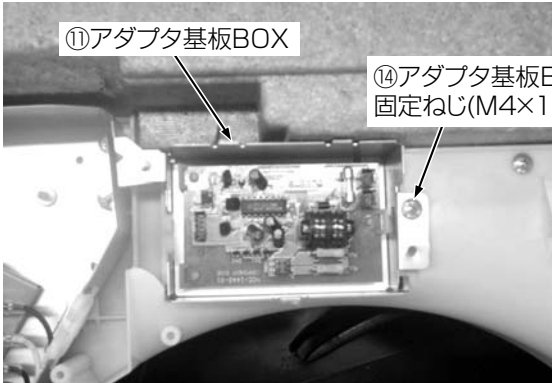
## 4方向天力セ (AP\*\*7Hシリーズ および RP\*\*\*Hシリーズ) 筐体の場合

No.	手 順	詳 細
1	⑪アダプタ基板BOXの図の位置に⑬コードクランプと①基板本体を⑥スペーサ(A)(3カ所)で取り付けます。	 <p>⑥スペーサ(A)</p> <p>⑬コードクランプ</p> <p>①基板本体</p>
2	ベルマウスの図の位置を切り取ります。	 <p>ベルマウス</p> <p>切り取り部</p>
3	電気部品箱内にある端子台固定板の図の位置に②中継端子台(U3,U4)を⑧端子台固定用ねじ (M4×14L) で取り付けます。 中継端子台近傍に付属の⑩端子銘板を図の向きに貼り付けます。	 <p>⑩端子銘板</p> <p>②中継端子台(U3,U4)</p> <p>⑧端子台固定用ねじ</p>
4	1の⑪アダプタ基板BOXをベルマウスの図の位置に⑭アダプタ基板BOX固定ねじ (M4×10L) で固定します。	 <p>⑪アダプタ基板BOX</p> <p>⑭アダプタ基板BOX固定ねじ(M4×10L)</p>

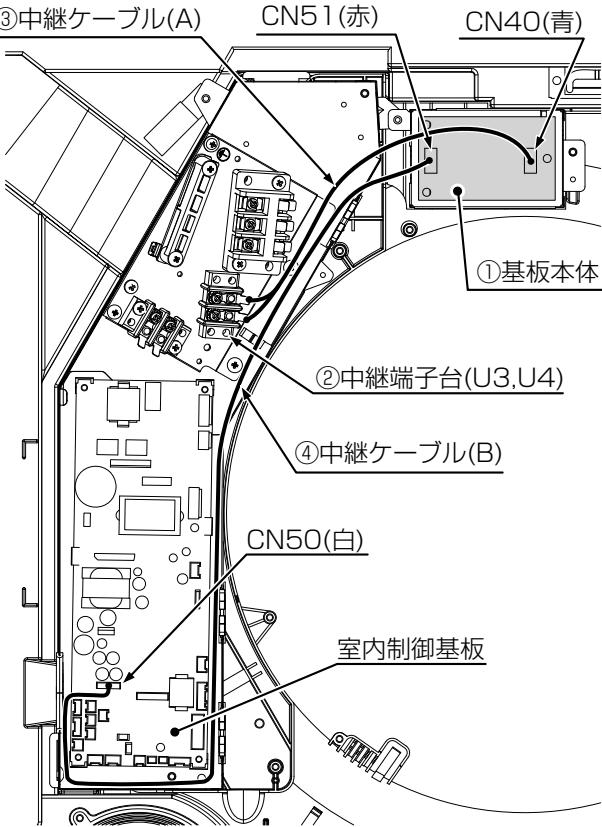
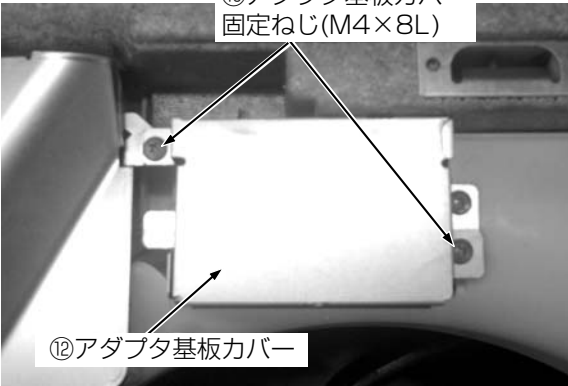
No.	手 順	詳 細
5	<p>③中継ケーブル(A)を②中継端子台(U3、U4)のファストン端子に取り付け、①基板本体のCN40(青)にコネクタを接続します。</p> <p>※③中継ケーブル(A)の配線接続には極性がありません。</p> <p>④中継ケーブル(B)のコネクタを室内基板上的CN50(白)から①基板本体のCN51(赤)に配線します。</p>	 <p>* ③④中継ケーブル(A)・(B)の配線接続後、ケーブルのはさみ込みなどがないように近くの配線にそわせて⑨結束バンドで固定してください。</p>
6	<p>⑫アダプタ基板カバーを⑪アダプタ基板BOXに⑮アダプタ基板カバー固定ねじ2本(M4×8L)で固定します。</p>	

# 取付手順（つづき）

## 4 方向天カセ（AP\*\*5H , AP\*\*6H シリーズ）筐体の場合

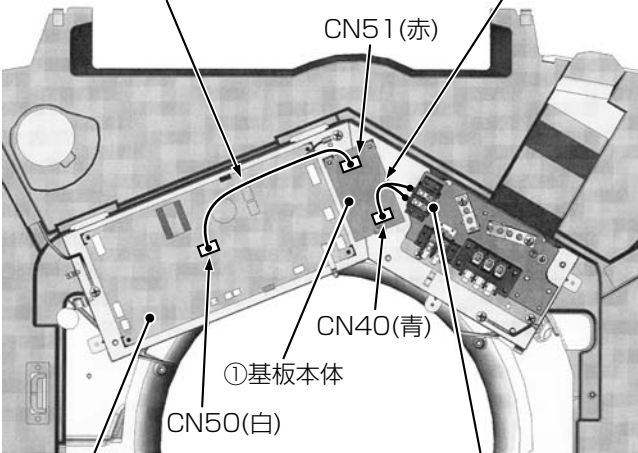
No.	手 順	詳 細
1	⑪アダプタ基板BOXの図の位置に⑬コードクランプと①基板本体を⑥スペーサ(A)(3カ所)で取り付けます。	 <p>⑥スペーサ(A)</p> <p>⑬コードクランプ</p> <p>①基板本体</p>
2	ベルマウスの図の位置を切り取ります。	 <p>ベルマウス</p> <p>切り取り部</p>
3	電気部品箱内にある端子台固定板の図の位置に②中継端子台(U3,U4)を⑧端子台固定用ねじ (M4×14L) で取り付けます。 中継端子台近傍に付属の⑩端子銘板を図の向きに貼り付けます。	 <p>端子台固定板</p> <p>銘板の向き</p> <p>上</p> <p>⑩端子銘板</p> <p>⑧端子台固定用ねじ</p> <p>②中継端子台(U3,U4)</p>
4	1の⑪アダプタ基板BOXをベルマウスの図の位置に⑭アダプタ基板BOX固定ねじ (M4×10L) で固定します。	 <p>⑪アダプタ基板BOX</p> <p>⑭アダプタ基板BOX 固定ねじ(M4×10L)</p>



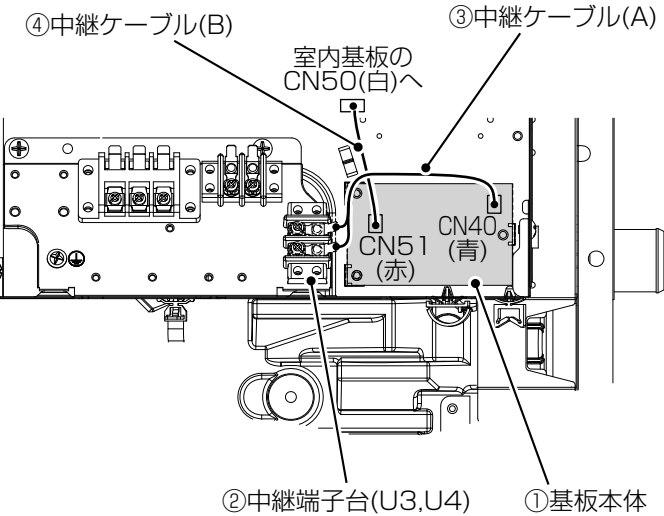
No.	手 順	詳 細
5	<p>③中継ケーブル(A)を②中継端子台(U3、U4)のファストン端子に取り付け、①基板本体のCN40(青)にコネクタを接続します。</p> <p>※③中継ケーブル(A)の配線接続には極性がありません。</p> <p>④中継ケーブル(B)のコネクタを室内基板上的CN50(白)から①基板本体のCN51(赤)に配線します。</p>	 <p>③中継ケーブル(A)</p> <p>CN51(赤)</p> <p>CN40(青)</p> <p>①基板本体</p> <p>②中継端子台(U3,U4)</p> <p>④中継ケーブル(B)</p> <p>CN50(白)</p> <p>室内制御基板</p> <p>* ③④中継ケーブル(A)・(B)の配線接続後、ケーブルのはさみ込みなどがないように近くの配線にそわせて⑨結束バンドで固定してください。</p>
6	<p>⑫アダプタ基板カバーを⑪アダプタ基板BOXに⑮アダプタ基板カバー固定ねじ2本(M4×8L)で固定します。</p>	 <p>⑮アダプタ基板カバー固定ねじ(M4×8L)</p> <p>⑫アダプタ基板カバー</p>

# 取付手順（つづき）

## 4方向天カセ（AP\*\*4Hシリーズ以前）筐体の場合

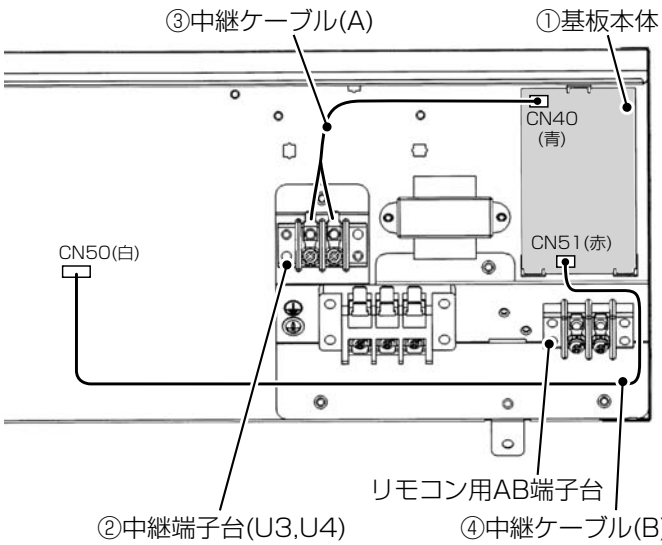
No.	手 順	詳 細
1	室内ユニット電気部品箱の図の位置に①基板本体を⑥スペーサ(A)(3カ所)で取り付けます。	
2	室内ユニット電気部品箱の図の位置に②中継端子台(U3,U4)を端子台固定用ねじで取り付けます。 ●ねじを締めるとき、ケーブルを傷めないように注意してください。 ●中継端子台近傍に付属の⑩端子銘板を貼り付けてください。	
3	③中継ケーブル(A)を②中継端子台(U3,U4)から①基板本体のCN40(青)に配線します。 ④中継ケーブル(B)を室内基板上のCN50(白)から①基板本体のCN51(赤)に配線します。	<ul style="list-style-type: none"><li>●③中継ケーブル(A) ②中継端子台(U3,U4)と①基板本体CN40(青)を接続します。配線接続には極性がありません。</li><li>●④中継ケーブル(B) 室内制御基板CN50(白)と①基板本体CN51(赤)を接続します。</li><li>●①基板本体は、3個の⑥スペーサ(A)を基板の穴に差し込み電気部品箱に取り付けます。</li></ul> <div><p>* ③④中継ケーブル(A)・(B)の配線接続後、ケーブルのはさみ込みなどがないように近くの配線にそわせて⑨結束バンドで固定してください。</p></div>

## 2 方向天カセ（AP\*\*\*WHシリーズ および RP\*\*\*WHシリーズ）筐体の場合

No.	手 順	詳 細
1	室内ユニット電気部品箱の図の位置に①基板本体を⑥スペーサ(A)(3カ所)で取り付けます。	
2	室内ユニット電気部品箱の図の位置に②中継端子台(U3,U4)を⑧端子台固定用ねじで取り付けます。 ● ねじを締めるとき、ケーブルを傷めないように注意してください。 ● 中継端子台近傍に付属の⑩端子銘板を貼り付けてください。	
3	③中継ケーブル(A)を②中継端子台(U3,U4)から①基板本体のCN40(青)に配線します。 ④中継ケーブル(B)を室内基板上のCN50(白)から①基板本体のCN51(赤)に配線します。	
		<p>●③中継ケーブル(A) ②中継端子台(U3,U4)と①基板本体CN40(青)を接続します。配線接続には極性がありません。</p> <p>●④中継ケーブル(B) 室内制御基板CN50(白)と①基板本体CN51(赤)を接続します。</p> <p>●①基板本体は、3個の⑥スペーサ(A)を基板の穴に差し込み電気部品箱に取り付けます。</p> <div><p>*③④中継ケーブル(A)・(B)の配線接続後、ケーブルのはさみ込みなどがないように近くの配線にそわせて⑨結束バンドで固定してください。</p></div>

# 取付手順 (つづき)

## 1 方向天力セ (AP\*\*\*SH および RP\*\*\*SHシリーズ) ・天吊 (AP\*\*6Hシリーズ以前) 筐体の場合

No.	手 順	詳 細
1	室内ユニット電気部品箱の図の位置に①基板本体を⑥スペーサ(A)(3カ所)で取り付けます。	 <p>③中継ケーブル(A) ①基板本体 CN40 (青) CN51 (赤) リモコン用AB端子台 ②中継端子台(U3,U4) ④中継ケーブル(B) CN50(白)</p>
2	室内ユニット電気部品箱の図の位置に②中継端子台(U3,U4)を⑧端子台固定用ねじで取り付けます。 ●ねじを締めるとき、ケーブルを傷めないように注意してください。 ●中継端子台近傍に付属の⑩端子銘板を貼り付けてください。	
3	③中継ケーブル(A)を②中継端子台(U3,U4)から①基板本体のCN40(青)に配線します。 ④中継ケーブル(B)を室内基板上のCN50(白)から①基板本体のCN51(赤)に配線します。	

●③中継ケーブル(A)  
②中継端子台(U3,U4)と①基板本体CN40(青)を接続します。配線接続には極性はありません。

●④中継ケーブル(B)  
室内制御基板CN50(白)と①基板本体CN51(赤)を接続します。

●①基板本体は、3個の⑥スペーサ(A)を基板の穴に差し込み電気部品箱に取り付けます。

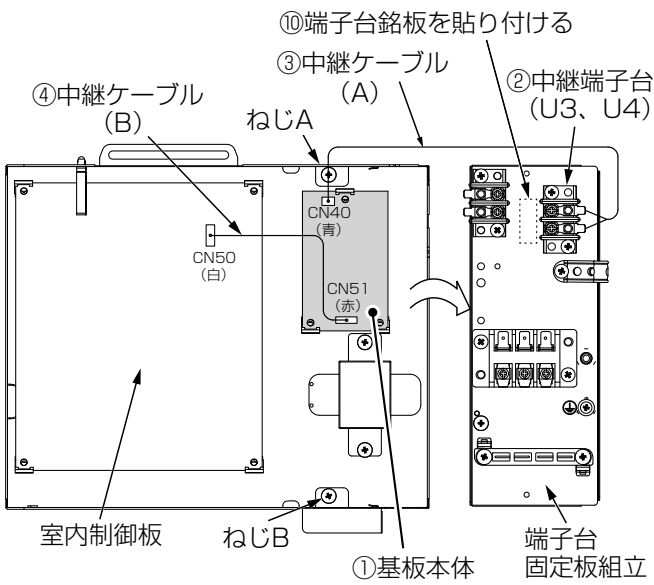
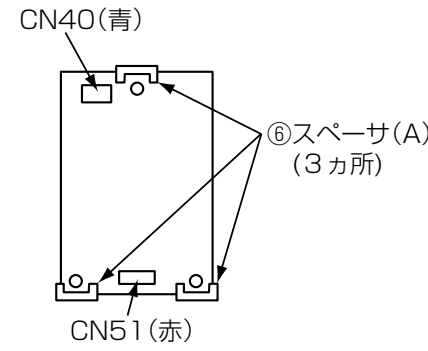
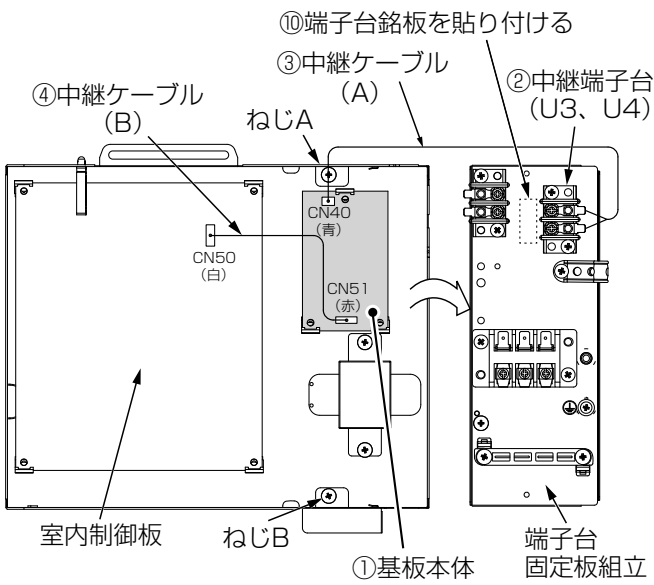
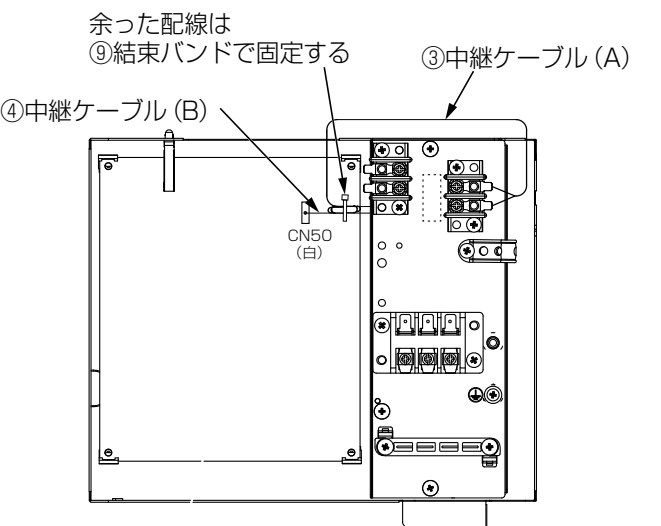
\*③④中継ケーブル(A)・(B)の配線接続後、ケーブルのはさみ込みなどがないように近くの配線にそわせて⑨結束バンドで固定してください。

# 天吊 (AP\*\*7H , AP\*\*8H シリーズ および RP\*\*\*H シリーズ) 筐体の場合

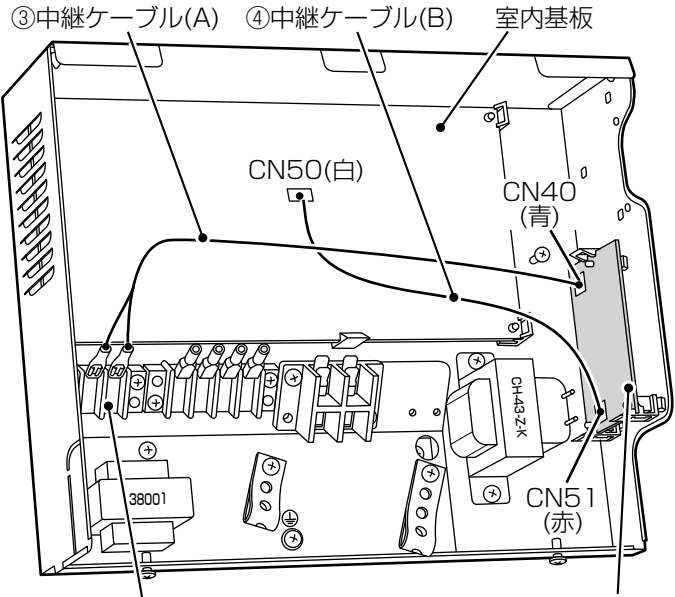
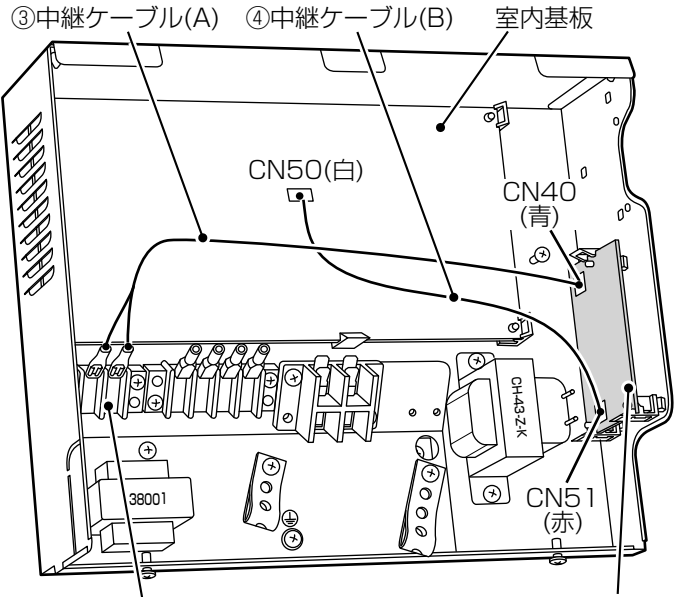
No.	手 順	詳 細
1	室内ユニット電気部品箱の右図の位置に⑥スペーサ(A)(3ヵ所)で①基板本体を取り付けます。	<p>The diagram shows the internal layout of the electrical component box. Labels include: 室内制御基板 (Indoor Control Board) at the top left; ④中継ケーブル(B) (Relay Cable B) pointing to a cable; ①基板本体 (Main Board Body) pointing to the board on the right; CN50(白) (CN50 White) pointing to a terminal; CN51(赤) (CN51 Red) pointing to a terminal; CN40(青) (CN40 Blue) pointing to a terminal; ②中継端子台(U3,U4) (Relay Terminal Block U3,U4) pointing to a terminal block at the bottom; and ③中継ケーブル(A) (Relay Cable A) pointing to a cable. A note box at the bottom right contains a warning about cable bundling.</p> <p>室内制御基板 ④中継ケーブル(B) ①基板本体 CN50(白) CN51(赤) CN40(青) ②中継端子台(U3,U4) ③中継ケーブル(A)</p> <p>*③④中継ケーブル(A)・(B)の配線接続後、ケーブルのはさみ込みなどがないように近くの配線にそわせて⑨結束バンドで固定してください。</p>
2	室内ユニット電気部品箱の右図の位置に②中継端子台(U3,U4)を⑧端子台固定用ねじで取り付けます。 ● ねじを締めるとき、ケーブルを傷めないように注意してください。 ● 中継端子台近傍に付属の⑩端子銘板を貼り付けてください。	
3	③中継ケーブル(A)を②中継端子台(U3,U4)から①基板本体のCN40(青)に配線します。配線接続には極性がありません。 ④中継ケーブル(B)を室内基板上のCN50(白)から①基板本体のCN51(赤)に配線します。	

# 取付手順（つづき）

## ビルトイン・ダクト（RP\*\*\*H シリーズ 6HP 以下） 筐体の場合

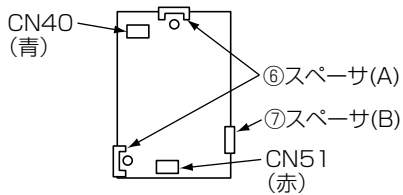
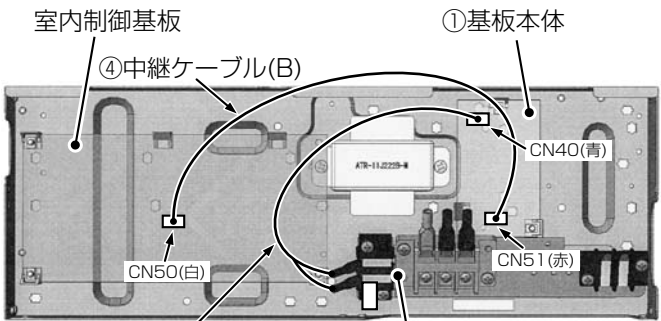
No.	手 順	詳 細
1	端子台固定板組立を固定しているねじAとねじBを取りはずし、端子台固定板組立を取りはずしてください。	
2	室内ユニット電気部品箱の図の位置に①基板本体を⑥スペーサ(A)(3カ所)で取り付けます。 〈基板本体の取付位置〉 	
3	端子台固定板組立上の図の位置に②中継端子台(U3,U4)を⑩端子台固定用ねじ(M4×14L)で取り付けます。 ● ねじを締めるとき、ケーブルを傷めないように注意してください。 ● ②中継端子台近傍に付属の⑩端子銘板を貼り付けてください。	<ul style="list-style-type: none"><li>●③中継ケーブル(A) ②中継端子台(U3,U4)と①基板本体CN40(青)を接続します。配線接続には極性がありません。</li><li>●④中継ケーブル(B) 室内制御基板CN50(白)と①基板本体CN51(赤)を接続します。</li></ul> <p>* ③④中継ケーブル(A)・(B)の配線接続後、ケーブルのはさみ込みなどがないように⑨結束バンドで固定してください。（下図参照）</p>
4	③中継ケーブル(A)を②中継端子台(U3,U4)から①基板本体のCN40(青)に配線します。 ④中継ケーブル(B)を室内基板上のCN50(白)から①基板本体のCN51(赤)に配線します。	
5	端子台固定板組立を元の位置に取り付け、ねじAとねじBを締めます。 注) このとき、電源線と中継ケーブルを挟み込まないように注意して取り付けてください。	

## ビルトイン（AP\*\*5Hシリーズ以前）筐体の場合

No.	手 順	詳 細
1	室内ユニット電気部品箱の図の位置に ①基板本体を⑥スペーサ(A)(3ヵ所)で取 り付けます。	
2	室内ユニット電気部品箱の図の位置に ②中継端子台(U3,U4)を⑧端子台固定用 ねじで取り付けます。 ●ねじを締めるとき、ケーブルを傷めな いように注意してください。 ●中継端子台近傍に付属の⑩端子銘板を 貼り付けてください。	
3	③中継ケーブル(A)を②中継端子台 (U3,U4)から①基板本体のCN40(青)に 配線します。 ④中継ケーブル(B)を室内基板上の CN50(白)から①基板本体のCN51(赤) に配線します。	 <p>●③中継ケーブル(A)            ②中継端子台(U3,U4)と①基板本体CN40(青)を接続しま            す。配線接続には極性はありません。</p> <p>●④中継ケーブル(B)            室内制御基板CN50(白)と①基板本体CN51(赤)を接続し            ます。</p> <p>●①基板本体は、3個の⑥スペーサ(A)を基板の穴に差し込み            電気部品箱に取り付けます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>* ③④中継ケーブル(A)・(B)の配線接続後、ケーブルのは              さま込みなどがなく、近隣の配線にそわせて⑨結束              バンドで固定してください。</p> </div>

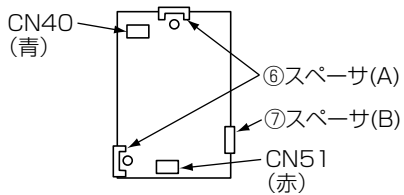
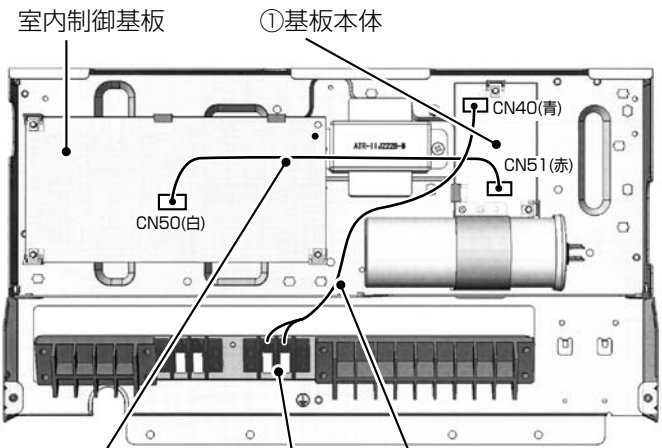
# 取付手順 (つづき)

## 床スタンド (AP/RP シリーズ 6HP 以下) 筐体の場合

No.	手 順	詳 細
1	<p>室内ユニット電気部品箱の図の位置に ①基板本体を⑥スペーサ(A)(2ヵ所)、 ⑦スペーサ(B)で取り付けます。</p> <p>〈基板固定用スペーサの取付位置〉</p> 	 <p>③中継ケーブル(A)      ②中継端子台(U3,U4)</p>
2	<p>室内ユニット電気部品箱の図の位置に ②中継端子台(U3,U4)を⑧端子台固定用 ねじで取り付けます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● ねじを締めるとき、ケーブルを傷めないように注意してください。</li><li>● 中継端子台近傍に付属の⑩端子銘板を 貼り付けてください。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●③中継ケーブル(A) ②中継端子台(U3,U4)と①基板本体CN40(青)を接続しま す。配線接続には極性がありません。</li><li>●④中継ケーブル(B) 室内制御基板CN50(白)と①基板本体CN51(赤)を接続し ます。</li></ul> <p>* ①基板本体は、2個の⑥スペーサ(A)を基板の穴に差し込 み(向かって基板上と基板左下)、1個は基板を挟み込む タイプの⑦スペーサ(B)を使って(基板右下)電気部品箱 に取り付けます。</p>
3	<p>③中継ケーブル(A)を②中継端子台 (U3,U4)から①基板本体のCN40(青)に 配線します。</p> <p>④中継ケーブル(B)を室内基板上の CN50(白)から①基板本体のCN51(赤) に配線します。</p>	<p>* ③④中継ケーブル(A)・(B)の配線接続後、ケーブルのは さみ込みなどがないように近くの配線にそわせて⑨結束 バンドで固定してください。</p>



## ダクト・床スタンド (AP\*\*5H シリーズ以前 8・10HP) 筐体の場合

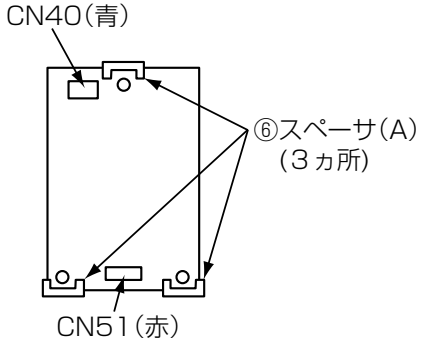
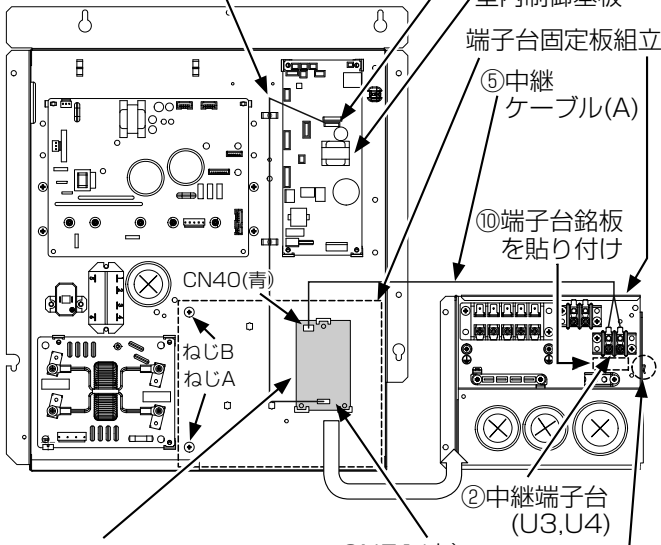
No.	手 順	詳 細
1	<p>室内ユニット電気部品箱の図の位置に ①基板本体を⑥スペーサ(A)(2ヵ所)、 ⑦スペーサ(B)で取り付けます。</p> <p>〈基板固定用スペーサの取付位置〉</p> 	
2	<p>室内ユニット電気部品箱の図の位置に ②中継端子台(U3,U4)を⑧端子台固定用 ねじで取り付けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ねじを締めるとき、ケーブルを傷めないように注意してください。</li> <li>● 中継端子台近傍に付属の⑩端子銘板を 貼り付けてください。</li> </ul>	<p>④中継ケーブル(B)      ③中継ケーブル(A)</p> <p>②中継端子台(U3,U4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●③中継ケーブル(A) ②中継端子台(U3,U4)と①基板本体CN40(青)を接続しま す。配線接続には極性がありません。</li> <li>●④中継ケーブル(B) 室内制御基板CN50(白)と①基板本体CN51(赤)を接続し ます。</li> </ul>
3	<p>③中継ケーブル(A)を②中継端子台 (U3,U4)から①基板本体のCN40(青)に 配線します。</p> <p>④中継ケーブル(B)を室内基板上の CN50(白)から①基板本体のCN51(赤) に配線します。</p>	<p>*①基板本体は、2 個の⑥スペーサ (A) を基板の穴に差し込 み (向って基板上と基板右下)、1 個は基板を挟み込むタ イプの⑦スペーサ (B) を使って (基板左下) 電気部品箱に 取り付けます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>*③④中継ケーブル(A)・(B)の配線接続後、ケーブルのは さみ込みなどがなく近くの配線にそわせて⑨結束 バンドで固定してください。</p> </div>

# 取付手順 (つづき)

## 床スタンド (AP\*\*6Hシリーズ 8・10HP) 筐体の場合

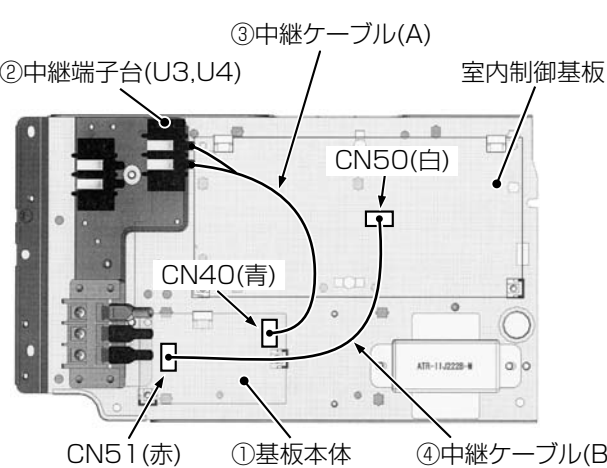
No.	手 順	詳 細
1	<p>室内ユニット電気部品箱の図の位置に①基板本体を設置済のスペーサで取り付けます。</p> <p>〈基板本体の取付位置〉</p> 	
2	<p>室内ユニット電気部品箱の図の位置に②中継端子台(U3,U4)を⑧端子台固定用ねじで取り付けます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● ねじを締めるとき、ケーブルを傷めないように注意してください。</li><li>● 中継端子台近傍に付属の⑩端子銘板を貼り付けてください。</li></ul>	<p>●③中継ケーブル(A) ②中継端子台(U3,U4)と①基板本体CN40(青)を接続します。配線接続には極性がありません。</p> <p>●④中継ケーブル(B) 室内制御基板CN50(白)と①基板本体CN51(赤)を接続します。</p>
3	<p>③中継ケーブル(A)を②中継端子台(U3,U4)から①基板本体のCN40(青)に配線します。</p> <p>④中継ケーブル(B)を室内基板上のCN50(白)から①基板本体のCN51(赤)に配線します。</p>	<p>* ③④中継ケーブル(A)・(B)の配線接続後、ケーブルのはさみ込みなどがないように⑨結束バンドで固定してください。</p>

## ダクト (8・10HP) 筐体の場合

No.	手 順	詳 細
1	端子台固定板組立を固定しているねじAとねじBを取りはずし、端子台固定板組立を取りはずしてください。	
2	室内ユニット電気部品箱の図の位置に①基板本体を⑥スペーサ(A)(3カ所)で取り付けます。 〈基板本体の取付位置〉 	
3	端子台固定板組立上の図の位置に②中継端子台(U3,U4)を⑩端子台固定用ねじ(M4×14L)で取り付けます。 ● ねじを締めるとき、ケーブルを傷めないように注意してください。 ● ②中継端子台近傍に付属の⑩端子銘板を貼り付けてください。	③中継ケーブル(A) ●②中継端子台(U3,U4)と①基板本体CN40(青)を接続します。配線接続には極性がありません。 ●④中継ケーブル(B) 室内制御基板CN50(白)と①基板本体CN51(赤)を接続します。
4	③中継ケーブル(A)を②中継端子台(U3,U4)から①基板本体のCN40(青)に配線します。 ④中継ケーブル(B)を室内基板上のCN50(白)から①基板本体のCN51(赤)に配線します。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>* ③④中継ケーブル(A)・(B)の配線接続後、ケーブルのはさみ込みなどがないように⑨結束バンドで固定してください。</p> </div>
5	端子台固定板組立を元の位置に取り付け、ねじAとねじBを締めます。 注) このとき、中継ケーブルを挟み込まないように注意して取り付けてください。	

# 取付手順（つづき）

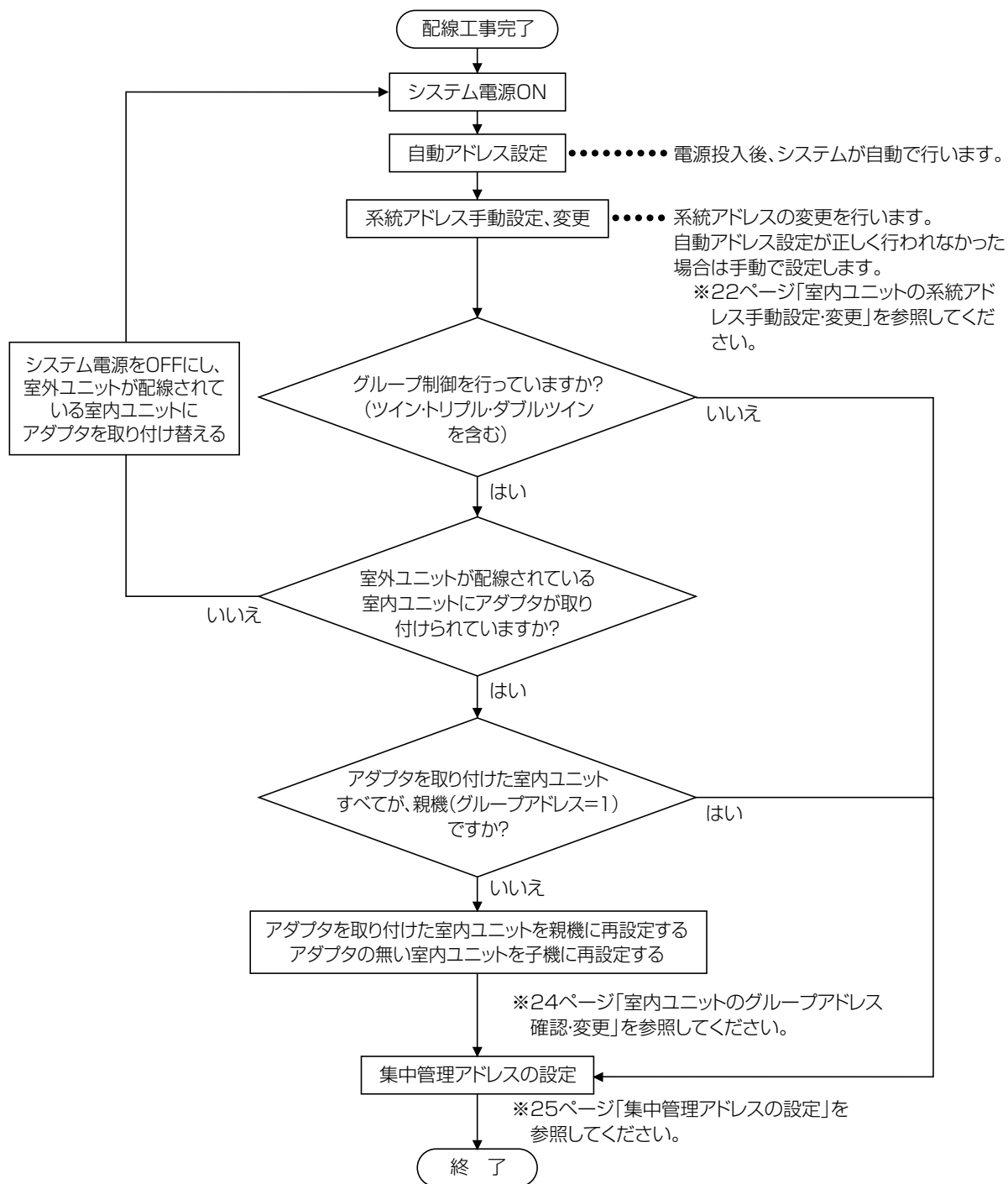
## 床サイド・厨房用天吊筐体の場合

No.	手 順	詳 細
1	<p>室内ユニット電気部品箱の図の位置に ①基板本体を⑥スペーサ(A)(2ヵ所)、 ⑦スペーサ(B)で取り付けます。</p> <p>〈基板固定用スペーサの取付位置〉</p> 	 <ul style="list-style-type: none"> <li>●③中継ケーブル(A) ②中継端子台(U3,U4)とアダプタ基板CN40(青)を接続します。配線接続には極性はありません。</li> <li>●④中継ケーブル(B) 室内制御基板CN50(白)と①基板本体CN51(赤)を接続します。</li> </ul>
2	<p>室内ユニット電気部品箱の図の位置に ②中継端子台(U3,U4)を⑧端子台固定用 ねじで取り付けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ねじを締めるとき、ケーブルを傷めないように注意してください。</li> <li>● 中継端子台近傍に付属の⑩端子銘板を 貼り付けてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* ③中継ケーブル(A) ②中継端子台(U3,U4)とアダプタ基板CN40(青)を接続します。配線接続には極性はありません。</li> <li>* ④中継ケーブル(B) 室内制御基板CN50(白)と①基板本体CN51(赤)を接続します。</li> </ul>
3	<p>③中継ケーブル(A)を②中継端子台 (U3,U4)から①基板本体のCN40(青)に 配線します。 ④中継ケーブル(B)を室内基板上の CN50(白)から①基板本体のCN51(赤) に配線します。</p>	<p>* ①基板本体は 2 個の⑥スペーサ (A) を基板の穴に差し込み (向って基板上と基板右下)、1 個は基板を挟み込むタイプ の⑦スペーサ (B) を使って (基板左下) 電気部品箱に取り 付けます。</p> <div> <p>* ③④中継ケーブル(A)・(B)の配線接続後、ケーブルのは さみ込みなどがなくように近くの配線にそわせて⑨結束 バンドで固定してください。</p> </div>

# アドレスの設定

## 概要

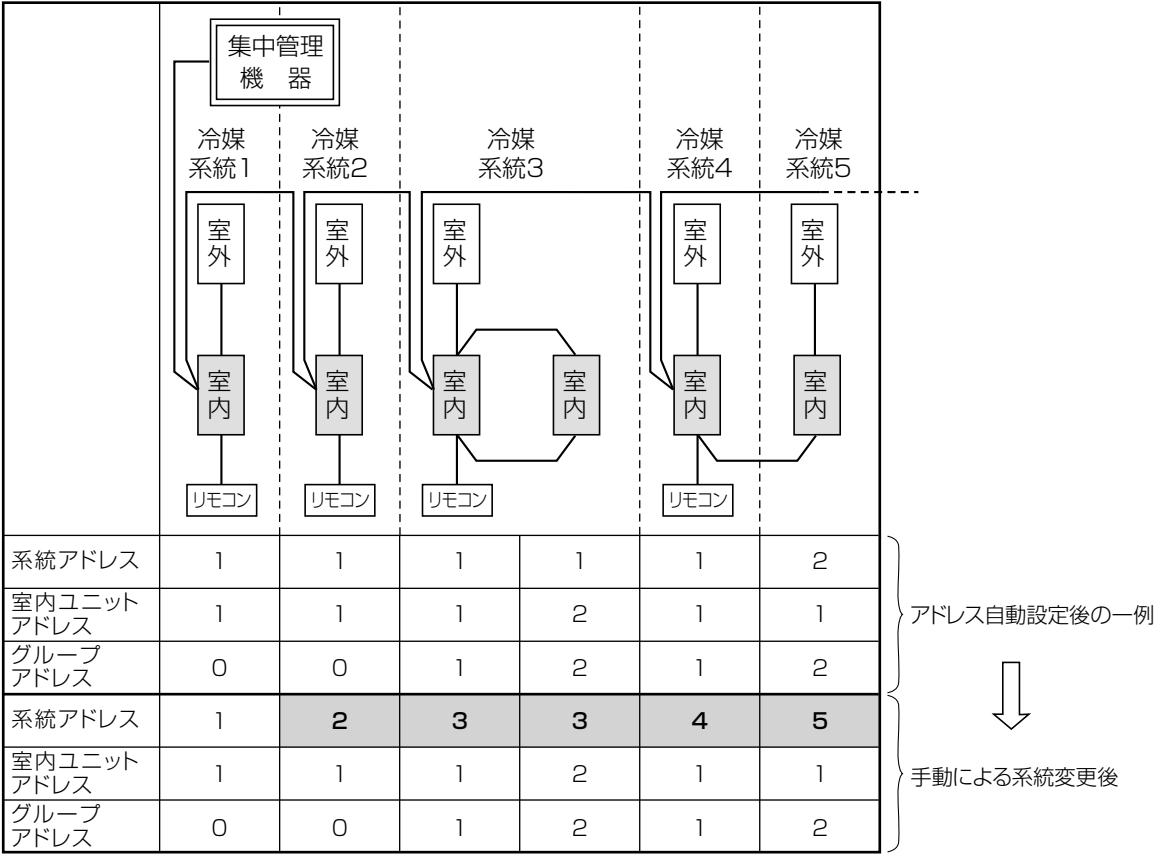
本製品を用いてTCC-LINK集中管理系へカスタムエアコンを接続し、集中管理するには下記の手順で各接続室内ユニットのアドレス設定を行います。



# アドレスの設定（つづき）

## 室内ユニットの系統アドレス手動設定・変更（その 1） [冷媒系統29系統以下の場合（マルチと混在時はマルチ側の冷媒系統数も含みます）]

システム電源投入後のアドレス自動設定により、系統アドレスがグループ制御を除きすべて“1”に割り付けられますので、冷媒系統ごとに系統アドレスをワイヤードリモコンにて変更設定します。



- \*ワイヤードリモコンによる変更・設定方法は、27ページの「アドレス設定変更方法」を参照してください。
- \*系統アドレスは冷媒系統ごとに異なる数値とし、他の冷媒系統と重複しないように設定してください。  
（マルチとカスタムを混在させて集中管理する場合には、マルチ側の系統アドレスとも異なる数値にしてください）

# 室内ユニットの系統アドレス手動設定・変更（その2）

[冷媒系統30系統以上の場合（マルチと混在時はマルチ側の冷媒系統数も含みます）]

システム電源投入後のアドレス自動設定により、系統アドレスがグループ制御を除きすべて“1”に割り付けられますので、冷媒系統ごとに系統アドレスをワイヤードリモコンにて変更設定します。

	<div> <div>集中管理機器</div> <div>冷媒系統1</div> <div>冷媒系統2</div> <div>冷媒系統3</div> <div>冷媒系統4</div> <div>冷媒系統5</div> </div>					
	室外 室内 リモコン	室外 室内 リモコン	室外 室内 リモコン	室内 リモコン	室外 室内 リモコン	室外 室内
系統アドレス	1	1	1	1	1	2
室内ユニットアドレス	1	1	1	2	1	1
グループアドレス	0	0	1	2	1	2
系統アドレス	1→30	1→30	1→30	1→30	1→30	2
室内ユニットアドレス	1	1→2	1→3	2→4	1→5	1
グループアドレス	0	0	1	2	1	2

アドレス自動設定後の一例



手動による系統変更後

- \*ワイヤードリモコンによる変更・設定方法は、27ページの「アドレス設定変更方法」を参照してください。
- \*系統アドレスは冷媒系統ごとに異なる数値とし、他の冷媒系統と重複しないように設定してください。  
（マルチとカスタムを混在させて集中管理する場合には、マルチ側の系統アドレスとも異なる数値にしてください）

# アドレスの設定（つづき）

## 〈ワイヤードリモコンの場合〉

## 室内ユニットのグループアドレス確認・変更

グループ運転、ツイン・トリプル運転の場合、システム電源投入後のアドレス自動設定により、室内ユニットにグループアドレスが割り付けられ、そのアドレスによって「親機」「1」、「子機」「2」と認識されます。

また、集中管理機器は各グループ内の「親機」とのみ通信を行うため、アダプタを取り付けた室内ユニットが「親機」になるようにグループアドレスをワイヤードリモコンにて設定します。

### ●親機の確認方法

事前にアダプタが取り付けられている室内ユニット（室外ユニットが配線されている室内ユニット）を確認してください。停止中に行ってください。

#### 〈手順〉

- ① セット + 取消 + 点検 ボタンを同時に4秒以上押します。

（最初に表示されるユニット No. がグループ制御の親機の室内ユニット No. です）

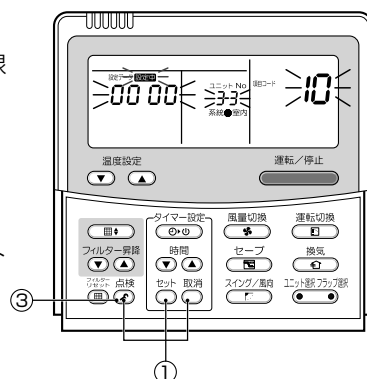


- ② ファンがONした室内ユニットが親機です。

アダプタを取り付けた室内ユニットと異なる場合は「親機の設定方法」により変更してください。



- ③ 点検 ボタンを押すと通常モードに戻ります。



### ●親機の設定方法（ファンがONした室内ユニットとアダプタを取り付けたユニットが違う場合）

下記手順でアドレスの変更をしてください。

#### 〈手順〉

- ① セット + 取消 + 点検 ボタンを同時に4秒以上押します。

（最初に表示されるユニット No. がグループ制御の親機の室内ユニット No. です）



- ② ファンがONした室内ユニットが親機です。



- ③ 温度設定 温度設定 ボタンで項目コードを“14”を選択します。



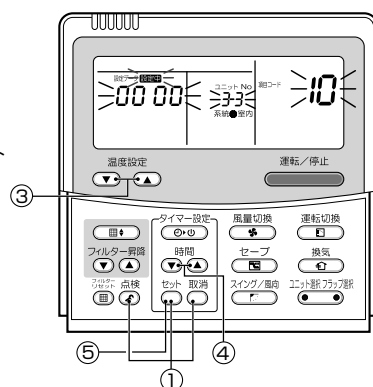
- ④ 設定データが0001になっていることを確認し、タイマー設定 時間 ボタンで設定データを0002に変更します。



- ⑤ セット ボタンを押します。このとき、表示が点滅から点灯になれば設定終了です。



（つづく）





(つづき)




- ⑥ **ユニット選択フラップ選択** ボタンの左を押し、アダプタが取り付けられている室内ユニットのファンをONにします。



- ⑦ 項目コードはそのまま（項目コード14を選択）



- ⑧ 設定データが0002になっていることを確認し、タイマー設定  で設定データを0001に変更します。



- ⑨ **セット** ボタンを押します。このとき、表示が点滅から点灯になれば設定終了です。



- ⑩ 上記設定が終了したら、**ユニット選択フラップ選択** ボタンの左を押して設定変更した室内ユニットを選択し、変更内容を確認してください。（項目コード14のまま）

\* **取消** ボタンを押すと、今まで設定した内容をクリアできます。（この場合は手順①からやり直しとなります）  
注）項目コードを変更すると取消しできません。

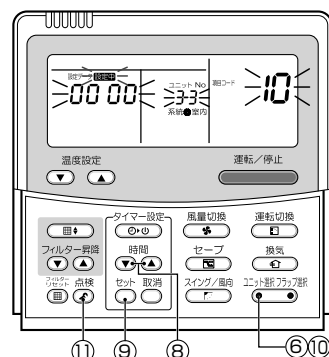


- ⑪ **取消** ボタンを押します。（設定が確定）

点検ボタンを押すと表示が消え、通常停止状態となります。

（点検ボタンを押したあと、約1分間はリモコン操作を受け付けません）

\* 点検ボタンを押したあと、1分以上経過してもリモコン操作を受け付けない場合はアドレス設定が誤っていることが考えられ、再度自動アドレス設定を行っていますので、約5分後に設定変更をやり直してください。



## 集中管理アドレスの設定

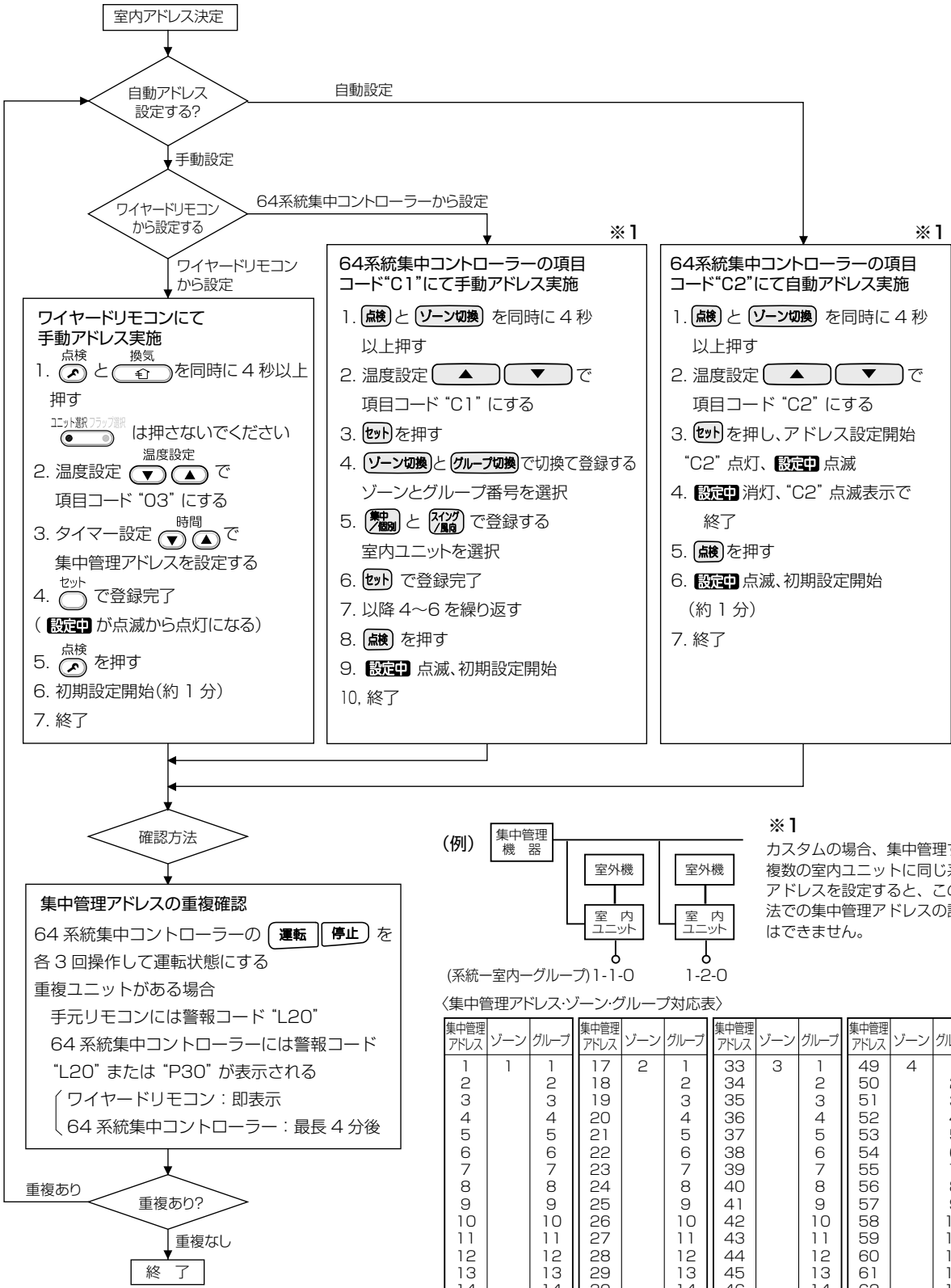
※詳細は64系統集中コントローラー据付説明書を参照してください。

1) アドレス設定は下記3通りがあります。

- ①ワイヤードリモコンからの手動設定
- ②64系統集中コントローラーからの手動設定
- ③64系統集中コントローラーからの自動設定

2) グループ制御時はグループ親機に集中管理アドレスを設定します。

アドレスの設定（つづき）



# アドレス設定変更方法

〈手順〉

- ① セット + 取消 + 点検 ボタンを同時に4秒以上押します。

液晶が点滅に変わります。(最初に表示されるユニット No. はグループ制御の親機の室内ユニット No. です)

- ② グループ制御の場合は、**ユニット選択** ボタンの左を押し変更したい室内ユニット No. を選択します。(選択した室内ユニットのファンが ON します)



〈系統アドレス〉

- ③ 温度設定 **温度設定** ボタンで項目コードを“12”にします。
- ④ タイマー設定 **時間** ボタンで系統アドレスを設定します。
- ⑤ **セット** ボタンを押します。(表示点灯で OK)



〈室内ユニットアドレス〉

- ⑥ 温度設定 **温度設定** ボタンで項目コードを“13”にします。
- ⑦ タイマー設定 **時間** ボタンで室内ユニットのアドレスを設定します。
- ⑧ **セット** ボタンを押します。(表示点灯で OK)



〈グループアドレス〉

- ⑨ 温度設定 **温度設定** ボタンで項目コードを“14”にします。
- ⑩ タイマー設定 **時間** ボタンで個別 = 0000、親機 = 0001、子機 = 0002 にします。
- ⑪ **セット** ボタンを押します。(表示点灯で OK)

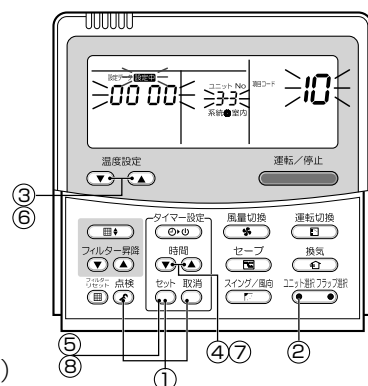
- ⑫ **ユニット選択** ボタンの左を押し次に変更したい室内ユニット No. を選択します。

- ⑬ ③～⑫ を繰り返して、アドレスが重複しないように変更します。

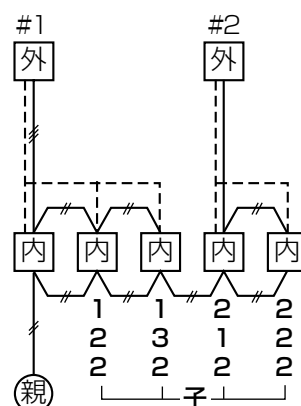


- ⑭ 上記変更を行ったあと、**ユニット選択** ボタンの左を押しして変更内容を確認してください。

- ⑮ OK であれば **点検** ボタンを押します。設定完了



〈2系統の配線例〉



系統アドレス→1  
室内ユニットアドレス→1  
グループアドレス→1

グループアドレス

個別：0000

親機：0001 } グループ制御  
子機：0002 } の場合

# アドレスの設定（つづき）

## 〈省エネ neo リモコンの場合〉

グループ運転、ツイン・トリプル運転の場合、システム電源投入後のアドレス自動設定により、室内ユニットにグループアドレスが割り付けられ、そのアドレスによって「親機」"1"、「子機」"2"と認識されます。  
また、集中管理機器は各グループ内の「親機」とのみ通信を行うため、アダプタを取り付けた室内ユニットが「親機」になるようにグループアドレスをワイヤードリモコンにて設定します。

### ●親機の確認方法

事前にアダプタが取り付けられている室内ユニット（室外ユニットが配線されている室内ユニット）を確認してください。停止中に行ってください。

- ① 『メニュー』を押してメニュー画面を表示させます。
- ② メニュー画面で『▼』と『メニュー』を同時に長押しすると現地設定メニュー画面が表示されます。
- ③ 現地設定メニュー画面で『▲』『▼』を押して、**アドレス設定**を選んで **設定** 『F2』を押すと、アドレス設定画面（画面1）が表示されます。
- ④ アドレス設定画面で『▲』『▼』を押して、**室内機アドレス確認・設定**を選んで **設定** 『F2』を押すと、室内機アドレス設定（グループ内）画面（画面2）が表示されます。
- ⑤ 系統アドレス、室内アドレス、Grアドレスの全てで「-」が表示され、グループ全ての室内ユニットのファンとフラップが動作します。
- ⑥ ⑤の状態、**ユニット** 『F1』を1回押すと、親機のためのファンとフラップが動作します（画面2）。画面のGrアドレスが"1"になっていることを確認してください。（Grアドレス 1=親機、2=子機、0=個別）アダプタを取り付けた室内ユニットと異なる場合は、「親機の設定方法」により変更してください。

### ●親機の設定方法（ファンがONした室内ユニットとアダプタを取り付けたユニットが違う場合）

下記手順でアドレスの変更をしてください。

- ① 『メニュー』を押してメニュー画面を表示させます。
- ② メニュー画面で『▼』と『メニュー』を同時に長押しすると現地設定メニュー画面が表示されます。
- ③ 現地設定メニュー画面で『▲』『▼』を押して、**アドレス設定**を選んで **設定** 『F2』を押すと、アドレス設定画面（画面1）が表示されます。
- ④ アドレス設定画面で『▲』『▼』を押して、**室内機アドレス確認・設定**を選んで **設定** 『F2』を押すと、室内機アドレス設定（グループ内）画面（画面2）が表示されます。
- ⑤ 系統アドレス、室内アドレス、Grアドレスの全てで「-」が表示され、グループ全ての室内ユニットのファンとフラップが動作します。
- ⑥ ⑤の状態、**ユニット** 『F1』を1回押すと、親機のためのファンとフラップが動作します（画面2）。画面のGrアドレスが"1"になっていることを確認してください。（Grアドレス 1=親機、2=子機、0=個別）**設定** 『F2』を押すと「手動設定するアドレス」が表示されます（画面3）。
- ⑦ **>** 『F2』を押して白黒反転部を"Gr"に合わせて、『▲』『▼』を押してGrアドレスを"2"に設定します。
- ⑧ **ユニット** 『F1』を押してアダプタが取り付けられている室内ユニットのファンをONにします。
- ⑨ ⑦と同じ方法で、Grアドレスを"1"に設定します。アダプタが取り付けられている室内機が親機に設定されます。
- ⑩ 『メニュー』を押すと「アドレスの変更を行います。よろしいですか？」が表示されます。**はい** 『F1』を押すと"設定中"が表示されたあとにアドレス設定画面に戻ります。

『とりけし』を3回押すと停止画面に戻ります。



画面1：アドレス設定画面



画面2：室内機アドレス設定画面（確認画面）



画面3：室内機アドレス設定画面（設定画面）

## ●集中管理アドレスの設定方法

- 1 『メニュー』を押してメニュー画面を表示させます。
- 2 メニュー画面で『▼』と『メニュー』を同時に長押しすると現地設定メニュー画面が表示されます。
- 3 現地設定メニュー画面で『▲』『▼』を押して、**アドレス設定**を選んで**設定**『F2』を押すと、アドレス設定画面が表示されます。(画面4)
- 4 アドレス設定画面で『▲』『▼』を押して、**集中制御用アドレス確認・設定**を選んで**設定**『F2』を押すと、集中制御用アドレス確認・設定画面(画面5)が表示されます。
- 5 集中制御用アドレス確認・設定画面で**設定**『F2』を押すと、設定する集中制御アドレス(ネットワークアドレス)が表示されます。(画面6)『▲』『▼』を押して集中制御アドレス(ネットワークアドレス)を設定します。
- 6 『メニュー』を押すと「アドレス変更を行います。よろしいですか?」が表示されます。**はい**『F1』を押すと、「設定中」画面表示後にアドレス設定画面が表示されます。**とりけし**を3回押すと停止画面に戻ります。



画面4: アドレス設定画面



画面5: 集中制御用アドレス確認・設定画面(確認画面)



画面6: 集中制御用アドレス確認・設定画面(設定画面)

## ●アドレス変更方法

下記手順でアドレスの変更をしてください。

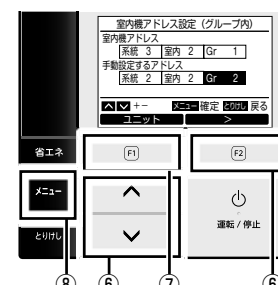
- 1 『メニュー』を押してメニュー画面を表示させます。
- 2 メニュー画面で『▼』と『メニュー』を同時に長押しすると現地設定メニュー画面が表示されます。
- 3 現地設定メニュー画面で『▲』『▼』を押して、**アドレス設定**を選んで**設定**『F2』を押すと、アドレス設定画面が表示されます。
- 4 アドレス設定画面(画面7)で『▲』『▼』を押して、**室内機アドレス確認・設定**を選んで**設定**『F2』を押すと、室内機アドレス設定(グループ内)画面が表示されます。(画面8)  
システムアドレス、室内アドレス、Grアドレスの全てで「-」が表示され、グループ全ての室内ユニットのファンとフラップが動作します。
- 5 ④の状態、**ユニット**『F1』を1回押すごとに、該当する室内機のファンとフラップが動作します。  
(全体→親機→子機1→子機2・・・)  
アドレスを変更する室内ユニットを選択して**設定**『F2』を押すと、「手動設定するアドレス」が表示されます(画面9)。
- 6 **>**『F2』を押して白黒反転部を「系統」「室内」「Gr」に合わせて、『▲』『▼』を押して各項目のアドレスを変更します。
- 7 **ユニット**『F1』を押して次の室内機を選択し、⑥の方法でアドレスを変更します。
- 8 すべての室内機のアドレス変更の設定を行ったあとに『メニュー』を押すと「アドレスの変更を行います。よろしいですか?」が表示されます。**はい**『F1』を押すと「設定中」が表示されたあとにアドレス設定画面に戻ります。『とりけし』を3回押すと停止画面に戻ります。



画面7: アドレス設定画面



画面8: 室内機アドレス設定画面(確認画面)



画面9: 室内機アドレス設定画面(設定画面)

# アドレス重複時の警報コード

	手 順	警報コード
ケース 1	<p>系統アドレスが重複しているとき</p> <p>系統 1</p> <p>系統 2</p> <p>TCC-LINK 集中管理機器</p> <p>室外</p> <p>室内</p> <p>リモコン</p> <p>系統アドレス : 1 室内アドレス : 1 グループアドレス : 0 集中管理 アドレス : 1</p> <p>系統アドレス : 1 室内アドレス : 1 グループアドレス : 0 集中管理 アドレス : 2</p>	<p><b>ワイヤードリモコン側</b></p> <p>系統 1 : E08 系統 2 : E08</p> <p><b>64系統集中コントローラー側</b></p> <p>系統 1 または系統 2 に E08</p>
ケース 2	<p>集中管理アドレスが重複しているとき（系統 1, 2 とも運転時）</p> <p>系統 1</p> <p>系統 2</p> <p>TCC-LINK 集中管理機器</p> <p>室外</p> <p>室内</p> <p>リモコン</p> <p>系統アドレス : 1 室内アドレス : 1 グループアドレス : 0 集中管理 アドレス : 1</p> <p>系統アドレス : 2 室内アドレス : 1 グループアドレス : 0 集中管理 アドレス : 1</p>	<p><b>ワイヤードリモコン側</b></p> <p>系統 1 : L20 系統 2 : L20</p> <p><b>64系統集中コントローラー側</b></p> <p>系統 1 または系統 2 に L20</p>
ケース 3	<p>ケース 2 で手元リモコンから片側の系統 2 のみ運転を行い、 集中管理アドレス重複を検出したとき</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●系統 1 : 停止中</li><li>●系統 2 : 運転中（集中管理アドレス重複を検出）</li></ul> <div><p>系統 1 : 停止中でも警報コードが出ます。 系統 2 : 集中側には警報が出ません。 （ワイヤードリモコンには警報表示あり）</p></div>	<p><b>ワイヤードリモコン側</b></p> <p>系統 1 : 警報なし 系統 2 : L20</p> <p><b>64系統集中コントローラー側</b></p> <p>系統 1 : 警報なし 系統 2 : L20 または 系統 1 : P30 系統 2 : 警報なし</p>

# 使用方法

- 集中管理機器の取扱説明書をご覧ください。

## その他注意事項

- グループ運転の場合、グループ制御内の全室内ユニットの電源を必ず入れてください。（3分以内）  
親機に電源が入っていない場合は、親機が子機に入れ換わる可能性があります。  
（親機が換わると集中管理ができません）

東芝キャリア株式会社

〒416-8521 静岡県富士市蓼原336番地

SN:EH99860801-B